

Job

Chapter 6

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיֹּאמֶר׃ אִיּוֹב וַיַּעַן
そして-言った ヨブは そして-答えた
H0559 H0347

ヨブは答えて言った、

לֹא שָׁקוּל יִשְׁקָל וְהִיתִי כְעֹשִׂי יְשׂאוֹ
もし 量られたなら 量って 持ち上げられ
H3863 H8254 H8254 H5375
וְהִיתִי כְעֹשִׂי יְשׂאוֹ בְמֵאֲזָנִים
私の-災いも 私の-災いも 秤の-上で
H1962 H1962 H3976
(וְהִיתִי) אִיּוֹב
私の-災いも
H1962
:יָחַד
共に

「どうかわたしの憤りが正しく量られ、同時にわたしの災も、はかりにかけられるように。

כִּי-עַתָּה מִחֹל יָמַי יָבִיךָ עַל-כֵּן וְדַבַּרְתִּי לָעוֹ
なぜなら 今 砂よりも 海 重い その- ゆえに 私の-言葉は 取り乱した
H6258 H2344 H3220 H3513 H1697

そうすれば、これは海の砂よりも重いに相違ない。それゆえ、わたしの言葉が軽率であったのだ。

כִּי חֲצִי שְׂדֵי עֲמֻדֵי אֲשֶׁר חִמַּמְתָּ שְׂתֵּה רִוְחִי בְעוֹתֵי אֱלֹהִים
なぜなら 矢が 全能者の 私の-中に-ある 毒を その 飲んで 恐怖が 私の-霊は 神の
H2671 H7706 H5978 H2534 H8354 H7307 H1161 H0433
:יַעַרְכוּנִי
私を-攻めている

全能者の矢が、わたしのうちにあり、わたしの霊はその毒を飲み、神の恐るべき軍勢が、わたしを襲い攻めている。

הֲיִנְהַקּוּ הַיְרֹבָגַת עַל-יְעִיבֵי הַשָּׂא עִמָּךְ אִם יִנְעֶה-יְשׁוֹר עַל-בְּלִיָּו
鳴くだろうか 野ろばが 草の-上で 青草の あるいは 牛が 鳴くだろうか 飼葉の-前で
H5101 H6501 H1877 H1600 H7794 H1098

野ろばは、青草のあるのに鳴くであろうか。牛は飼葉の上でうなるであろうか。

הֲיִאֲכַל תִּפְלֵ מִבְּלִי-מֶלַח אִם-יֵשׁ טֶעַם בְּרִיר חֲלָמוֹת׃
食べられようか 味気ない-ものが 塩- なしに あるいは あるか 汁に 味が ぜにあおいの
H0398 H1097 H4417 H3426 H2940 H7388 H2495

味のない物は塩がなくて食べられようか。すべりひゆのしるは味があるうか。

מֵאֲנָה לִנְנוֹעַ נַפְשִׁי הֵמָּה כְּדָנִי לַחֲמוֹ
拒んでいる 触れることを 私の-魂は それらは 嫌悪する-もの 私の-食べ物
H3985 H5060 H5315 H1992 H1741 H3899

わたしの食欲はこれに触れることを拒む。これは、わたしのきらう食物のようだ。

מִי-יִתֵּן תָּבוֹא שְׂאֵלָתִי וְיִתֵּן יְתֵן אֱלֹהִים
ああ 与えられたなら 来るなら 私の-願いが 与えてくださるなら 神が
H4310 H5414 H0935 H7596 H5414 H0433

どうかわたしの求めるものが獲られるように。どうか神がわたしの望むものをくださるように。

וְיִאֵל אֱלֹהֵי וַיִּדְכְּאֲנִי וַיִּתֵּר יְדוֹ
神が 神が そして-決めてくださり 私を-砕いてくださり 解き放ち その-御手を
H0433 H2974 H1792 H3027

9

וַיִּבְצַעַנִי:
私を-断ち切ってくださいなら
H1214

どうか神がわたしを打ち滅ぼすことをよしとし、み手を伸べてわたしを断たれるように。

וַיִּתְהַי וְעוֹד וְנִתְמַתִּי וְאֶסְלְדָה בְּחֵילָהּ לֹא
なおも 私の-慰めとなり そして-躍り上がるだろう 苦痛の-中で 惜しまぬ
H5750 H1961 H5165 H5539 H3808

10

וְיִחְמוֹל כִּי- לֹא כְחַדְתִּי אֲמַרִי קָדוֹשׁ:
容赦しない なぜなら ない 隠さなかった 言葉を 聖なる-方の
H2550 H3808 H3582 H0561 H6918

そうすれば、わたしはなお慰めを得、激しい苦しみの中にあっても喜ぶであろう。わたしは聖なる者の言葉を否んだことがないからだ。

מַה- כְּחֵי כִי- אֵיחָל וַיְמַה- קִצִּי כִי- אֲאַרְיֵךְ נַפְשִׁי:
私の-力は 何か 待ち望もうか また-何か 私の-終わりは 延ばそうか それで 私の-命を
H4100 H3176 H4100 H7093 H5315 H0748

11

わたしにどんな力があって、なお待たねばならないのか。わたしにどんな終りがあるので、なお耐え忍ばねばならないのか。

אִם- כֶּחַ אֲבָנִים כְּחֵי אִם- בְּשָׂרִי נְחוּשׁ:
もし 力が 石の 私の-力なら あるいは 私の-肉は 青銅か
H0068 H0898 H1320 H5153

12

わたしの力は石の力のようなのであるのか。わたしの肉は青銅のようなのであるのか。

הָאֵם אֵין עֲזָרְתִּי בִי וְיִתְשִׁיָּה נִדְחָה מִמֶּנִּי:
まことに ない 私の-助けは 私の-内に 知恵は 私から 追いやられた
H0369 H5833 H8454 H5080

13

まことに、わたしのうちに助けはなく、救われる望みは、わたしから追いやられた。

לְמַס מִרְעָהוּ חֶסֶד וַיִּרְאָת שְׂרִי יַעֲזוֹב:
苦しむ-者に 友からの 慈しみが-あるべきだ そして-畏れを 全能者への 捨てるとしても
H4523 H7453 H3374 H7706

14

その友に対するいつくしみをさし控える者は、全能者を恐れることをすてる。

אֲחֵי בְנֵי כְמוֹ- גִּחְלִי וְיִתְעַלְמוּ- שְׁלֹג: יַעֲבְרוּ נְחָלִים כְּאֶפֶיִק גִּחְלִי
私の-兄弟たちは 裏切った ように 流れ床のように 流れ川の ように 過ぎ去る 涸れ川の
H0251 H0898 H3644 H0650

15

わが兄弟たちは谷川のように、過ぎ去る出水のように欺く。

הַקְּדָרִים מִנֵּי- קָרַח עֲלֵימוֹ וַיִּתְעַלְמוּ- שְׁלֹג:
暗くなる ために 氷の その-上に 雪が 隠される
H6937 H7140 H5956 H7950

16

これは氷のために黒くなり、そのうちに雪が隠れる。

17 בֵּית יִזְרְכוּ נִצְמְתוּ בְּחֶמֶד נִדְעָכוּ מִמְקוֹמָם:
 時に 暖かくなると 消え失せる 暑さの-中で 消え去る その-場所から
[H6256](#) [H2215](#) [H6789](#) [H2527](#) [H1846](#) [H4725](#)

これは暖かになると消え去り、暑くなるとその所からなくなる。

18 יִלְפְתוּ אֲרָחוֹת הַרְקָם יַעֲלוּ בְּתֵהוּ וַיֵּאבְדוּ:
 逸れていく 道から その-道筋の 上って行き 荒野に そして-消える
[H3943](#) [H0734](#) [H1870](#) [H5927](#) [H8414](#) [H0006](#)

隊商はその道を転じ、むなししい所へ行って滅びる。

19 הִבִּיטוּ אֲרָחוֹת תֵּמָא הַלִּיקַת שֵׁבָא קוּי- לָמוּ:
 見つめた 隊商は テマの 旅人たちは シェバの 望みをかけた それらに
[H5027](#) [H0734](#) [H8485](#) [H1979](#) [H7614](#)

テマの隊商はこれを望み、シバの旅びとはこれを慕う。

20 כָּשָׁו כִּי- בָּטָח בָּאוּ עָרְיָה וַיִּחְפְּרוּ:
 恥じた なぜなら 信頼していたのに 来てみると そこに そして-面目を失った
[H0954](#) [H0982](#) [H0935](#) [H5704](#) [H2659](#)

彼らはこれにたよったために失望し、そこに来てみて、あわてる。

21 כִּי- עַתָּה הֵייתֶם [לֹא] (לֹא) וַתֵּרֶאוּ חֹתַת וַתִּירָאוּ:
 なぜなら 今 あなたがたは-なった 無に それに 見て 恐怖を そして-恐れている
[H6258](#) [H1961](#) [H3808](#) [H7200](#) [H2866](#) [H3372](#)

あなたがたは今わたしにはこのような者となった。あなたがたはわたしの災難を見て恐れた。

22 הִכִּי- אָמַרְתִּי הֲבוּ לִי וּמִכֹּחְכֶם שְׁחַדוּ בְּעַדִּי:
 まさか 私が-言ったか 与えよ 私に あなたがたの-力から 贈り物をせよと 私の-ために
[H0559](#) [H3051](#)

わたしは言ったことがあるか、『わたしに与えよ』と、あるいは『あなたがたの財産のうちからわたしのために、まいたないを贈れ』と、

23 וּמִלְטוֹנִי מִיַּד- צָר וּמִיַּד עֲרִיצִים תִּפְדּוּנִי:
 そして-救い出せ 手から 敵の そして-手から 暴虐な-者の 贖い出せと
[H4422](#) [H3027](#) [H3027](#) [H6184](#) [H6299](#)

あるいは『あだの手からわたしを救い出せ』と、あるいは『しえ上げる者の手からわたしをあがなえ』と。

24 הוֹרִנִי וְאַנִּי אֶחְרִישׁ וּמַה- שְׁנִיתִי הֲבִינוּ לִי:
 教えてくれ そうすれば-私は 黙ろう また-何を 過ちを-犯したか 悟らせてくれ 私に
[H0589](#) [H4100](#) [H7686](#) [H0995](#)

わたしに教えよ、そうすればわたしは黙るであろう。わたしの誤っている所をわたしに悟らせよ。

25 מַה- נִמְרָצוּ אֲמַרִי- יֶשֶׁר וּמַה- יֹכִיחַ הוֹכַחַ מִכֶּם:
 痛烈な 言葉だろう 正しい 何か-何を 証明するの 叱責が あなたがたから
[H4834](#) [H0561](#) [H3476](#) [H4100](#) [H3198](#) [H3198](#)

正しい言葉はいかに力のあるものか。しかしあなたがたの戒めは何を戒めるのか。

26 תְּלַהֲוֹכַח מִלִּים תִּחְשְׁבוּ וְלָרוּחַ אֲמַרִי נֹאשׁ:
 言葉を 叱責する つもりか そして-風に 言葉を 絶望した-者の
[H3198](#) [H4405](#) [H2803](#) [H7307](#) [H0561](#) [H2976](#)

あなたがたは言葉を戒めうと思うのか。望みの絶えた者の語るとは風のようなものだ。

אַף־ 27
 אֶל־ 27
 יְתוֹם 27
 תִּפְּלוּ 27
 וְתִקְּרוּ 27
 אֶל־ 27
 רֵעֵיכֶם: 27
 さらには
 くじ引きを
 孤児の-上に
 投げ
 そして-取り引きする
 について
 友を
[H0637](#)
[H3490](#)
[H5307](#)
[H7453](#)

あなたがたは、みなしごのためにくじをひき、あなたがたの友をさえ売り買いするであろう。

וְעַתָּה 28
 הֲוֹאִילֹ 28
 פָּנֹי־ 28
 בִּי 28
 וְעַל־ 28
 פְּנֵיכֶם 28
 אִם־ 28
 אֶכְזֹב: 28
 今
 どうか
 向き直って
 私に
 そして
 あなたがたの-面前で
 もし
 私が-偽るなら
 28
[H6258](#)
[H2974](#)
[H6437](#)
[H3576](#)
[H6440](#)

今、どうぞわたしを見られよ、わたしはあなたがたの顔に向かって偽らない。

שָׁבוּ־ 29
 נָא 29
 אֶל־ 29
 תְּהִי 29
 עוֹלָה 29
 וְשׁוּבוּ (29
 עוֹד 29
 戻って
 どうか
 不義が
 あっては-ならない
 不正は
 戻れ
 戻れ
 29
[H7725](#)
[H4994](#)
[H0408](#)
[H1961](#)
[H7725](#)
[H7725](#)
[H5750](#)

צְדִקְי־ 29
 בְּה־ 29
 私の-正しさは
 その-中に-ある
 29
[H6664](#)

どうぞ、思いなおせ、まちがってはならない。さらに思いなおせ、わたしの義は、なおわたしのうちにある。

הֲיֵשׁ־ 30
 בְּלִשׁוֹנִי 30
 עוֹלָה 30
 אִם־ 30
 חֲזִי 30
 לֹא־ 30
 יִבִּין 30
 הַזֹּאת: 30
 あるか
 私の-舌に
 不正が
 あるいは
 私の-口蓋は
 分らないのか
 見分けられないのか
 災いを
 30
[H3426](#)
[H3956](#)
[H3808](#)
[H2441](#)
[H0995](#)
[H1942](#)

わたしの舌に不義があるか。わたしの口は災をわきまえることができぬであろうか。